

第26回日本赤十字リハビリテーション協会研修会

第26回日本赤十字リハビリテーション協会研修会を下記要項にて開催します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

テーマ：高次脳機能障害を有する方に対するリハビリテーション

会 期：2019年6月22日(土)・23日(日)

会 場：名古屋第二赤十字病院(愛知県名古屋市昭和区妙見町2-9、受付場所：1病棟10階 加藤化学カンファレンスホール)

講 師：早川裕子(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

定 員：60名(予定)

参加費：7,000円

申し込み方法：日本赤十字リハビリテーション協会ホームページ(<http://jrcra.sakura.ne.jp/>)よりお申し込みください。

締め切り：2019年6月14日(金)

*定員に達した場合、受け付けを終了する場合がありますので早めの申し込みをお願いします。

問い合わせ先：☎ 819-0165 福岡県福岡市西区今津377
今津赤十字病院 リハビリテーション技術課
白石 浩
Tel : 092-806-2111 Fax : 092-806-2314

第2回日本理学療法哲学・倫理学会研究会フォーラム

研究会長：堀 寛史(藍野大学)

テーマ：痛みの存在意義—臨床哲学の視座から

日 時：2019年7月6日(土)12:30~17:30

場 所：藍野大学(大阪府茨木市高田町1-22)

参加費：2,000円(会員・学生は無料)

プログラム：「Ⅰ. 痛みの存在意義—臨床哲学の視座から」堀 寛史(藍野大学)、「Ⅱ. 臨床哲学が対象とする社会的事象」浜渦辰二(大阪大学名誉教授)、「Ⅲ. シン

ポジウム：痛みを呈する対象者への対応」1. 慢性疼痛者への対応」松原貴子(神戸学院大学)「2. 骨関節疾患に伴う疼痛への対応」森山英樹(神戸大学)「3. 幻視痛の機序と対応」小嶋 功(神戸学院大学)、Ⅳ. 一般演題

*理学療法と哲学・倫理に関する持論

*痛みを呈する対象者への対応

演題申し込みと問い合わせ先：藍野大学 堀 寛史

E-mail : h-hori@pt-u.aino.ac.jp